

# 見えない病気と知られない病態の中で生きる エーラスダンロス症候群の患者 集学的診療システムが光をあてることができるか

**日時** 2023年1月22日(日)10:00～13:00

参加費  
無料

**場所** CIVI研修センター新大阪東E303(ハイブリッド開催)  
大阪市東淀川区東中島1-19-4 LUCID SQUARE SHIN-OSAKA 3階

参加対象者: 医師、歯科医師、看護師、理学療法士・作業療法士、言語聴覚士、ケアマネージャー、  
介護士、薬剤師、その他の医療介護従事者等

## 【プログラム】

10:00～10:45

- ①「見えない機能障害、見えない疼痛と知られていない病気で苦しむ  
エーラスダンロス症候群患者に、医療従事者はだれが何をすべきか？」  
演者: 大阪南医療センター 統括診療部長 橋本 淳(45分)

10:45～11:30

- ②「見えない病気と知られない病態を患うということ」  
演者: エーラスダンロス症候群 患者会 塩崎万里(45分)

-休憩-

11:40～12:10

- ③「考えられる臨床心理士からのアプローチ」  
演者: 大阪南医療センター 臨床心理士/公認心理師 塩崎 淳(30分)

12:10～12:40

- ④「考えられるリハビリテーションのアプローチ」  
演者: 大阪南医療センター 整形外科医 橋本 淳(30分)

## 【お申込み】

URLまたはQRコードより参加申込フォームにご入力ください  
<https://forms.gle/ctCn5sVQqPbHQJiX9>



主催: 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業近畿地区事務局  
滋賀医科大学麻醉学講座内 (pain@belle.shiga-med.ac.jp)

後援(予定): 大阪府医師会、大阪府、大阪市、滋賀県、滋賀県慢性疼痛対策推進事業